

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.13 R 3, 2, 5

先日、サザンカの木に一羽の小鳥が飛んできました。目の周りが白く縁どられ、きれいな鶯色の羽毛をまとった可愛い鳥。そう、それはメジロです。覚えていらっしゃるでしょうか？園庭のヤマモモの木に巣を作り、子育てをしていたメジロがいたことを。「もしかしたら、そのメジロが帰ってきたのかもしれない！」とその場にいた子どもたちは、胸を弾ませていました。なんだかワクワクしますね！もしかしたら…と子どもたちと想像力を働かせて会話が弾みました。次に園庭で見かけた時には、「おかえり」と声をかけてあげたいです。



おかあさんが  
わらったから!!

先週は久しぶりに雨が降り、園庭に大きな水たまりができました。水たまりで泥んこ遊びを楽しんだ次の日…「今日も泥んこ遊びをするぞ!」と決意して登園してきた子がいました。理由は、昨日ドロドロになった体操服や靴を見て、「お母さんが笑ったから」。楽しかった出来事が、お母さんの笑顔によって、さらに最高の出来事になったことでしょうね。



土山の斜面に長椅子を置き始めました。  
自分たちで作上げた楽しい遊び場の完成です!

あめでも  
あそべるよ!

園庭で遊ぼうと靴を履き替えたら、ポツリポツリ。雨が降ってきてしまいました。「え! どうしよう…」と戸惑っているかと思ったら、パッと表情が変わって「雨でも遊べるよ! だって、裸足になればいいんだもん」園庭整備を始めてから、裸足で遊ぶ姿がすっかり当たり前になりました。雨が降る園庭での楽しみも子どもたちは知っているようです。



ポツリの楽しい遊び方。  
水たまりの中に点々と並べておいて、  
落ちないで向こう岸まで行けるかな?

チャレンジタワーに登れる子が増えてきました。毎日一生懸命に取り組んだ末に登れた喜びは、子どもたちの体も心も大きく成長させてくれます。

ある日、小さなチャレンジタワーに挑戦していた星組さん。頑張っている姿を応援するつもりで、思わず手を添えると簡単に登ってしまいました。憧れのタワーに登れて、さぞかし喜ぶだろうと思ったとたん、突然の大泣き!理由は「自分で登りたかったのに…」体は小さくてもしっかりと自分の意思を持っていること、目標を持って取り組んでいることを感じました。

じぶんで  
やれたかった…



どうしたら登れるかな?  
そうだ、足を濡らしてみよう!  
滑らなくなるかもしれないぞ。

じぶんでのぼってないけどね…



数日後、数週間後の自分の姿を夢見て、  
来る日も来る日も挑戦し続けています。

来る日も来る日もチャレンジタワーに登ろうと頑張っていた月組さんが、ある日、天板に乗っているのを見つけました。「やったね!」と声をかけると「うん、自分で登ってないけどね…」と浮かない表情。頑張る姿に周囲の子が手伝ってくれたようです。それはそれで、とても素晴らしいことで、子ども同士の育ち合いを感じました。しかし、子どもにとっては、登れたことが達成ではなく、自分で登れたことが達成であることが分かりました。それから、その子の挑戦は続き、約2週間後見事自分で登り切ることができました。

きらら、今までありがとう…

1日(月)の朝、きららが亡くなっていました。ついこの間、にじいろちゃんとこんなに仲良くしている姿が見られただけに、本当に残念でなりません。一羽になってしまったにじいろちゃんを見て、「寂しいよって言うてるね」「きららはどこ〜って探してるね」と子どもたちからも別れを惜しむ声が聞かれました。今頃はきっと、天国でぴりんと再会し、穏やかに過ごしていることでしょう。きらら、今までありがとう。

